



湯浅町



那智勝浦町



太地町



そびえる山々、清らかな流れ、大いなる海…

大自然こそ、和歌山の魅力

そこにしっかりと根づいた

人々の笑顔と元気な暮らし

未来に繋ぎたい風景が

ここに、あります



いつまでも
変わらない
心の風景。

あの町この村ぶらり旅 総集編 その1

【観る・識る】

太地町

くじら博物館

鯨とともに約400年以上の歴史を歩んできた太地町で出会った女性。彼女は、くじら博物館でトレーナーを目指しています。起床時間も早く、女性にとってはキツイ仕事にも関わらず、真っ直ぐに、ひたむきに夢を追う彼女の表情は明るく、キラキラと輝いて見えました。若い力に支えられ、鯨の町の歴史は未来へと繋がっていくでしょう。

平成23年7月取材

那智勝浦町

熊野那智大社

「那智勝浦町をはじめ、和歌山県は歴史のある素晴らしい町。深緑の山々、紺碧の海など、数え切れない美しい景色、それを県民がしっかり認識していないのは非常に残念なこと。私は和歌山県出身ではありません、だからこそ言えるんです。」
那智大社の宮司である朝日芳英さんのお言葉が、とても印象的でした。

平成24年3月取材

湯浅町

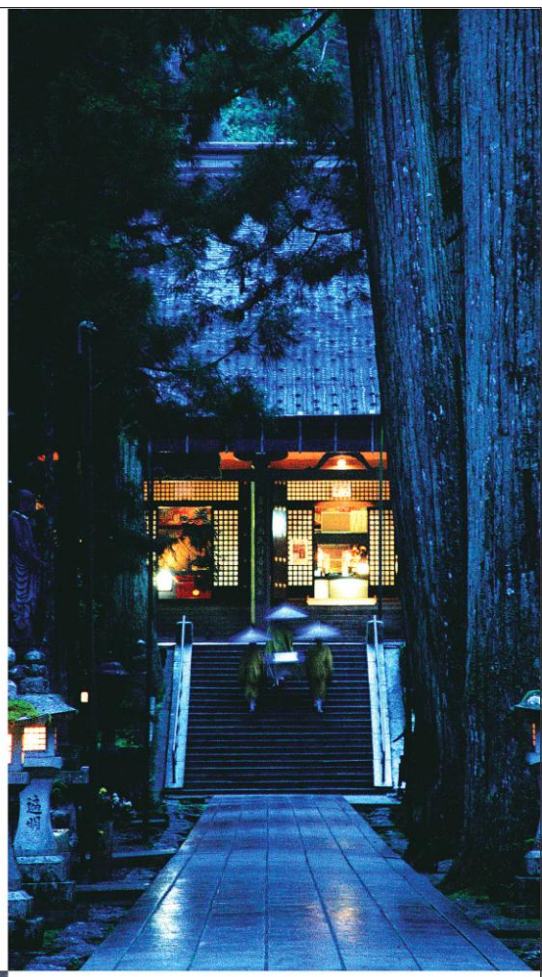
伝建地区

湯浅町の旧市街の北西に残る『重要伝統的建造物群保存地区』。ここは、かつて醤油醸造業が最も盛んに行われていた帯で、ノスタルジックな町並みが、今でも人々の手を守られ残されています。茶屋の前でホッと息していると、「こんにちは、今日は寒いわね」と、話しかけてくれるおばちゃん。失われつつある、人情を感じました。

平成23年3月取材

遙かなる歴史を辿って知る、 先人の思いやりの心。

あの町この村 ぶらり旅 総集編 その1 【観る・識る】



高野町

高野山 奥之院

雨の日も風の日も、毎朝6時と10時の2回、大師がおられる御廟へ食事を届ける維那(ゆいな)と呼ばれる仕侍僧。「すべての人が、すべての魂が救われるまで折り続ける」と誓い、今から約1200年前に奥之院の御廟に入定された弘法大師。大師は、今も仏として折りの日々を送っているとされています。平成22年10月取材



日高町

誕生院

江戸時代後期の念仏行者、徳本上人。功績が称えられ、紀州藩10代藩主である徳川治宝(はるとみ)により建立された誕生院。額面の治宝公自筆の力強い文字が印象的でした。平成23年11月取材



日高町

道成寺

歌舞伎や能で知られる「安珍清姫物語」の舞台である道成寺。住職さんの面白おかしい絵解き説法で知る物語で「いつの時代も、女性を怒らせたら怖い」と、しみじみ感じました。平成22年11月取材



かつらぎ町

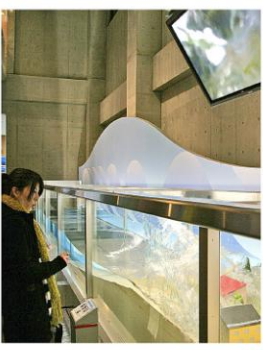
丹生都比売神社

約1700年前、応神天皇から神領として寄進された丹生都比売神社。「弘法大師は確かに偉大な人物。しかし、その教えを現代まで絶やさずに受け継いできた人々がいる。それはもったいないことだと思いませんか」と神主さんのお言葉が非常に印象的で、心に残っています。平成23年10月取材

広川町

稲むら火の館

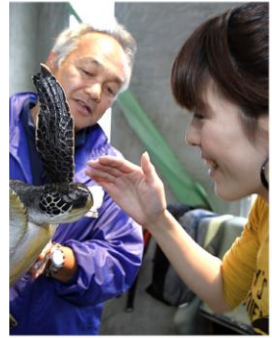
濱口梧陵記念館と、津波防災教育センターを併設している「稲むら火の館」。広川町出身の偉人、濱口梧陵の功績、災害の恐怖、そして防災知識の大切さを痛感しました。平成23年12月取材



串本町

串本海中公園

「過去1回でも串本の海で見られたもの」が展示基準という海中公園。バックヤード見学では、たくさんの海の生物を身近に感じられ、童心に戻ってはいやいでしまいました。平成23年8月取材



九度山町

高野山町石道

「高野山町石道」とは、九度山町の慈尊院から高野山の壇上伽藍にある根本大塔に続く道。晩年、慈尊院に大師の母公が移り住んだ由来から、女人禁制の高野山に対し、「女人高野」と親しまれるようになりました。各町村で大師に由来のある史跡などを見つけると、少しワクワクしました。平成22年12月取材



上富田町

スポーツセンター

16ヘクタールという広大な敷地の中に、あらゆるスポーツ施設を完備。県内外のフリの強豪チームが合宿地を選び、県のスポーツ観光PRの役を担っています。平成24年1月取材



町を代表する景色、 季節の移ろいを映して。

あの町この村 ぶらり旅 総集編 その1 【観る・識る】

有田川町 あらぎ島



江戸時代に開墾された、扇状に広がる美しい棚田「あらぎ島」は、有田川町のシンボルの景観。その雄大な景観に圧倒されました。

平成22年9月取材

古座川町 一枚岩



国指定天然記念物、一枚岩は、高さ100メートル、幅500メートルの大岩壁。毎年2回、「一枚岩に犬の形をした影」「一枚岩の守り犬」が現れます。

平成24年4月取材

すさみ町 稲積島



すさみ海水浴場の先にトンと鎮座し、国の天然記念物に指定されている「稲積島」は、すさみ八景のひとつ。多くの言い伝えを残し、町民に親しまれています。

平成23年6月取材

美浜町 煙樹ヶ浜



「白砂青松(はくしゃせいしよ)」。美しい海岸を表す言葉が相応しい煙樹ヶ浜。その背景に広がる松林は、地域の防災資源として高く評価されています。

平成23年1月取材

紀美野町 生石高原

有田川町との町境、標高870メートルの山頂に広がるスキ草原。お日さまを浴びながら、スキが風に揺れる音に耳を傾け、ゆったりとした時間を過ごしました。

平成23年10月取材

印南町 かえる橋



印南町のシンボル「かえる橋」は、「考える」「人をかえる」「町をかえる」「古里へかえる」「栄える」という5つの「かえる」にちなんでネーミングされました。

平成24年2月取材

由良町 白崎海岸



コバルトブルーの海と、白い岩のコントラストが美しい白崎海岸は、石匠岩採掘跡地。和歌山県民が、必ず一度は訪れるデイトスポットでもあります。

平成24年5月取材

みなべ町 梅林



梅の里、みなべ町。毎年、梅の花が咲き始める1月下旬から3月上旬の休日には、南部梅林、岩代大梅林でお祭りが催されます。

平成23年2月取材



北山村 おくところ温泉

「おくところ温泉 やまのやど」では、深谷美に包まれた露天風呂、広い内湯や、じやばら湯などが楽しめます。源泉かけ流しで、間伐材などのバイオマス資材を利用したボイラー施設によるクリーンエネルギーによる、地球にも優しい温泉です。

平成23年8月取材

白浜町 白浜温泉

「日本三白湯」として、日本書紀、風土記などに登場する歴史を持つ白浜温泉は、名実ともに全国区。海を一望できる露天風呂や、昔ながらの雰囲気を残した銭湯のような庶民温泉、また、手軽に楽しめる無料足湯スポットも多数。

平成23年5月取材

ほっこり癒しの湯。



郷土が誇る偉人たち。

あの町この村 ぶらり旅 総集編 その1



ナイアガラ崖下の濱口梧陵の肖像画

廣川町
濱口梧陵
廣川町生まれの濱口梧陵。安政南海大地震時の判断力と実行力、その勇氣を、小泉八雲も「生ける神」と賞賛しました。



南苑熊楠記念館内

白浜町
南方熊楠
慶応3年(1867年)、和歌山県に生まれた熊楠は、植物学・園芸学者としてのみならず、民俗学の創始者としても有名です。



和歌山県湯浅町教育委員会 教育長の垣内貞先生

湯浅町
湯浅宗重
源平争戦の中、先には平清盛、平家が没落した後は、源頼朝に信頼され、た有力な武将、湯浅宗重は湯浅町出身です。



真田幸村が隠棲した真田庵

九度山町
真田幸村
戦国動乱期に活躍した戦国武将、真田幸村とその父昌幸らが隠棲した屋敷があり、真田家の縁の地として知られています。



ヨハネス・クヌツセン

美浜町
ヨハネス・クヌツセン
昭和32年、航海中日の岬灯台西の沖合で火災を起こしている船の救助を試み、命を落とした海の勇者です。



興国寺

由良町
法燈国師
信州生まれですが、縁あって興国寺に居を構えた法燈国師。宋から金山寺味噌の製法を伝え、湯浅の醤油のルーツを確立しました。



日高川町
宮子姫

宮子姫は、その美貌と才能を見込まれて文武(もんむ)天皇の夫人に選ばれ、のちに東大寺を建設した聖武(しよむ)天皇を出産する女性。こどもを心から愛した、理想の母親像です。

高野町
弘法大師

平安時代初期の高僧。中国からもたらした真言密教を、高野町のある紀伊山地に根本道場として開創。大師は今も奥の院の御廟で仏として折りの日々を送っているといわれています。

有田川町
明恵上人

鎌倉時代に活躍した、有田川町出身の華嚴宗(けごんしゆ)の高僧。名譽と利益を離れ、純真無垢にその生涯を生きた上人は、19歳から60歳でよくなるまでずっと夢日記をつけていました。

日高川町
清姫

旅の山伏、安珍に恋をし、裏切られ、憎しみに悲しみから蛇に姿を変えた清姫。道成寺の釣鐘に隠れている安珍を焼き殺してしまいます。

偉人ではありませんが、今も語り継がれる悲恋物語のヒロインです。

日高町
徳本上人

江戸時代後期の、日高町出身の念仏行者。1日の食事は麦の粉1合、16歳から横になつて寝ることはなかったそう。多くの人々に強い影響を与えた、カリスマ高僧です。

旅で出会ったおともだち

- 美浜町 かんちゃん
- 印南町 さんちゃん & きゆうくん
- すさみ町 イノブタ
- 北山村 わんこ
- 上富田町 お昼寝犬
- 由良町 たぬき親子